

# 2026年3月期 決算説明資料

(2025年4月1日～2026年3月31日)

株式会社 精工技研

2026年5月19日

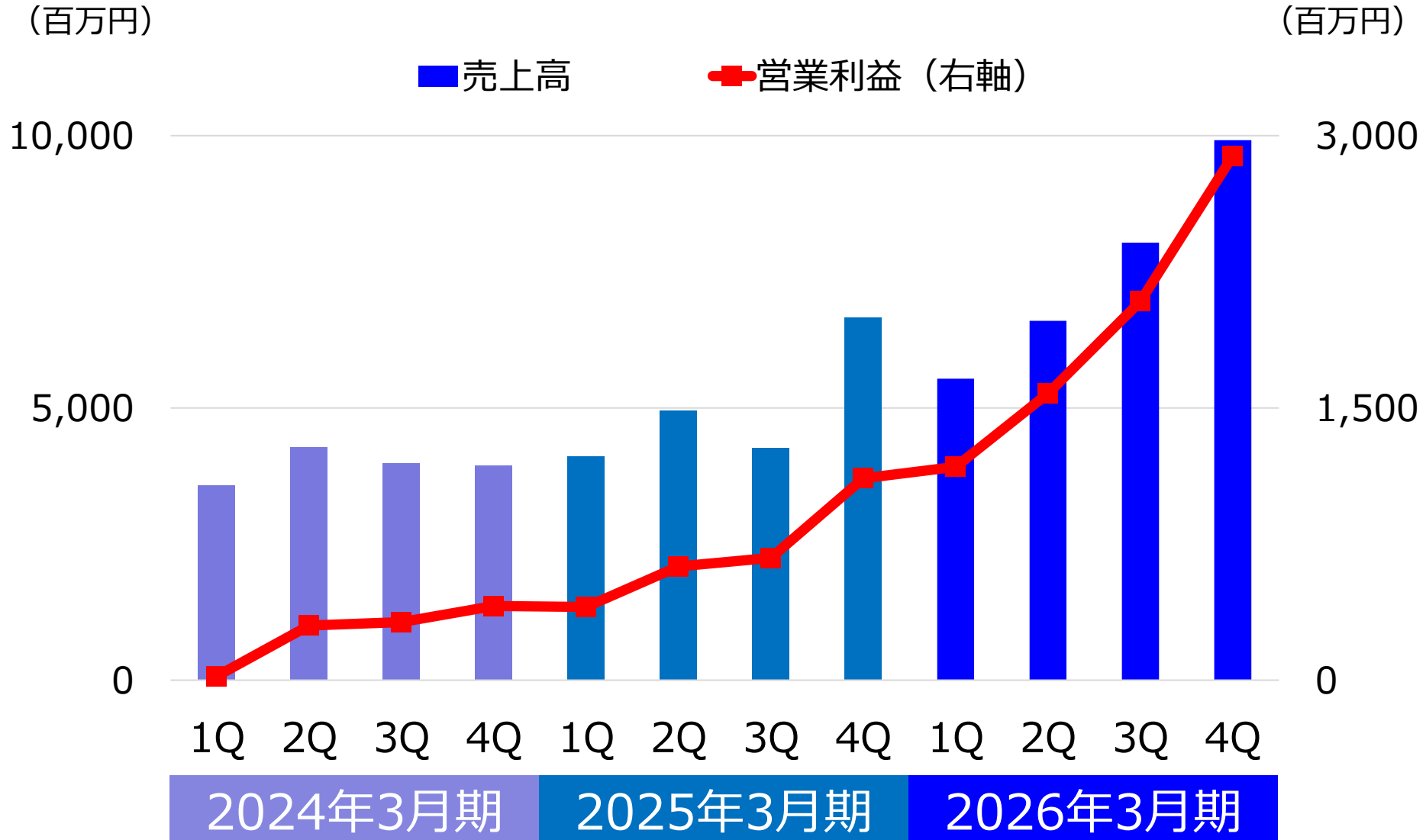
- I. 2026年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2027年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート

- I. 2026年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2027年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート

# 2026年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2026年3月期	2025年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2026/2/13)
売上高	30,087	19,982	50.6%	30,000
精機部門	9,963	9,200	8.3%	9,800
光製品部門	20,124	10,782	86.6%	20,200
営業利益	7,733	2,817	174.5%	7,000
経常利益	8,139	2,979	173.2%	7,200
当期純利益	6,210	2,225	179.1%	5,400

# 連結損益 四半期推移



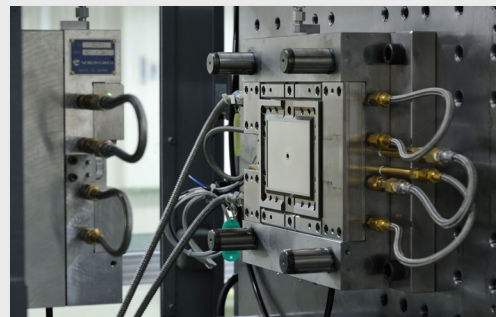
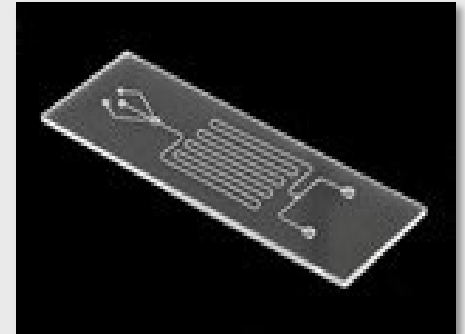
## 2026年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2026年3月期	2025年3月期	対前期増減率
受注高	35,316	21,380	+65.2%
受注残	9,613	4,384	+119.2%
設備投資	1,073	598	+79.5%
減価償却費	941	944	△0.3%
研究開発費	666	500	+33.1%

# 精機部門／主要製品・主要技術

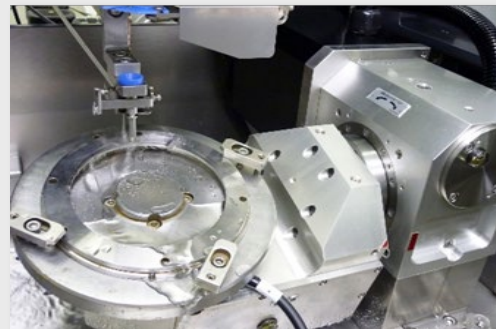
## ◆ 成形品

車載用インサート成形品  
樹脂射出成形品  
二色成形品  
金属プレス成形品 等



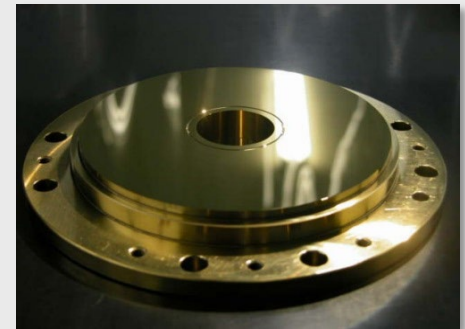
## ◆ 金型

各種精密金型



## ◆ その他

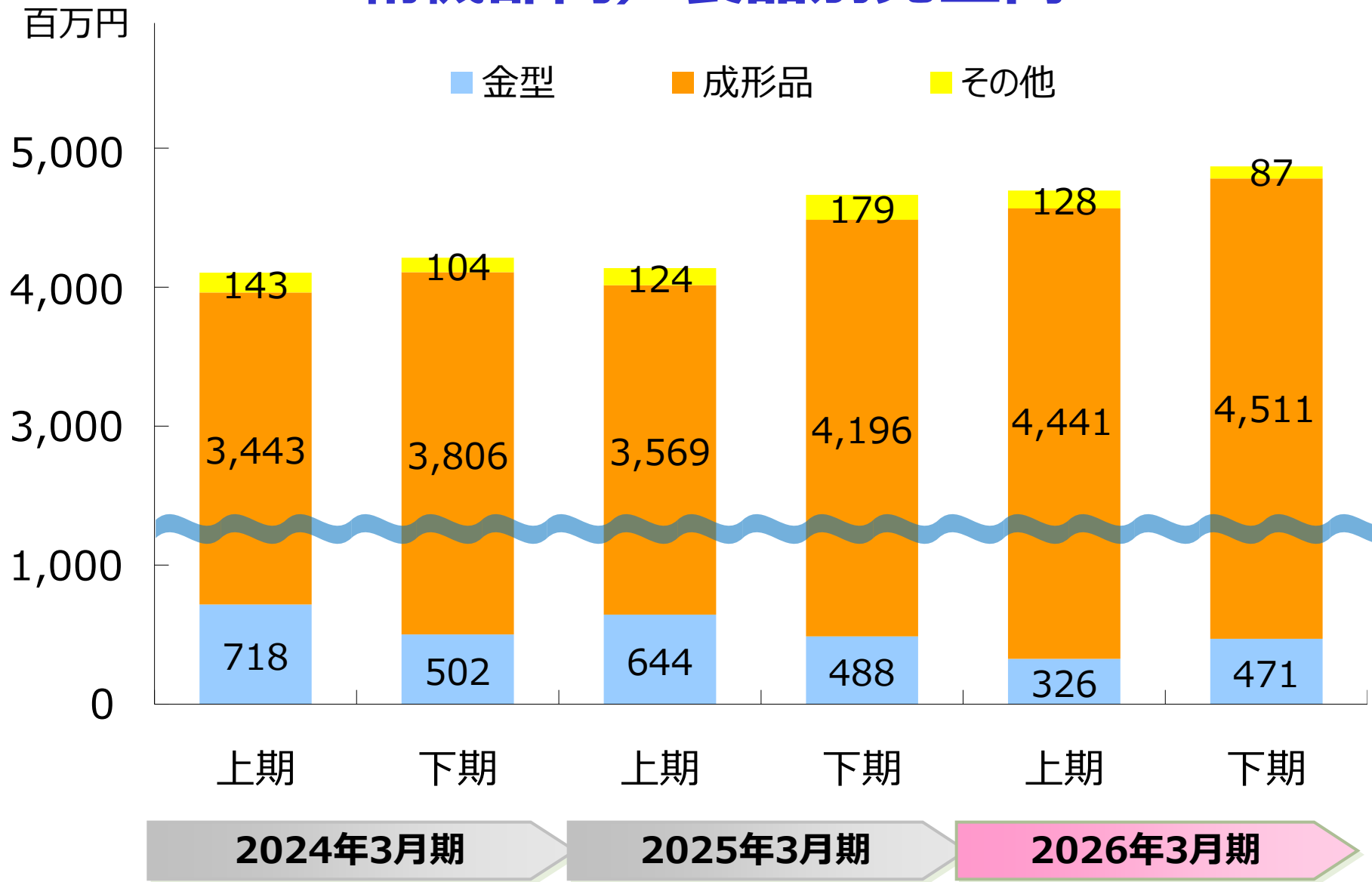
精密金属加工部品 等



## 精機部門／セグメント業績

(百万円)	2026年3月期	2025年3月期	対前期増減率
売上高	9,963	9,200	+8.3%
営業費用	8,899	8,612	+3.3%
営業利益	1,064	588	+81.0%
営業利益率	10.7%	6.4%	—

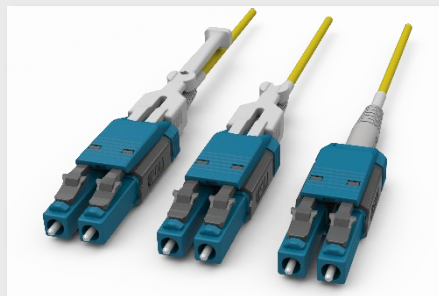
# 精機部門／製品別売上高



# 光製品部門／主要製品・主要技術

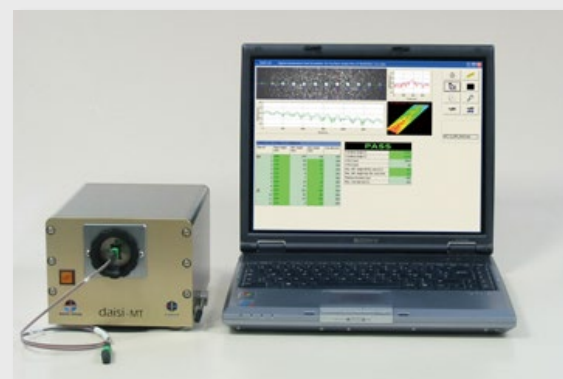
## ◆ 光通信用部品

光コネクタ  
フェルール 等



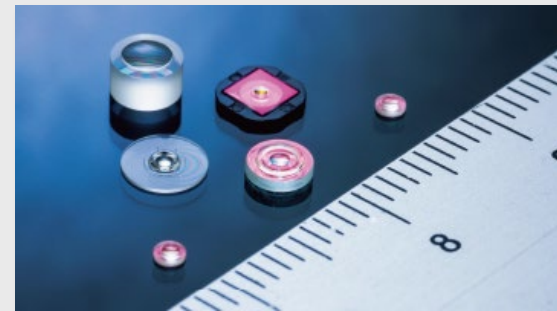
## ◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機  
光コネクタ端面検査装置  
光電界センサー 等



## ◆ その他

超小型レンズ 等



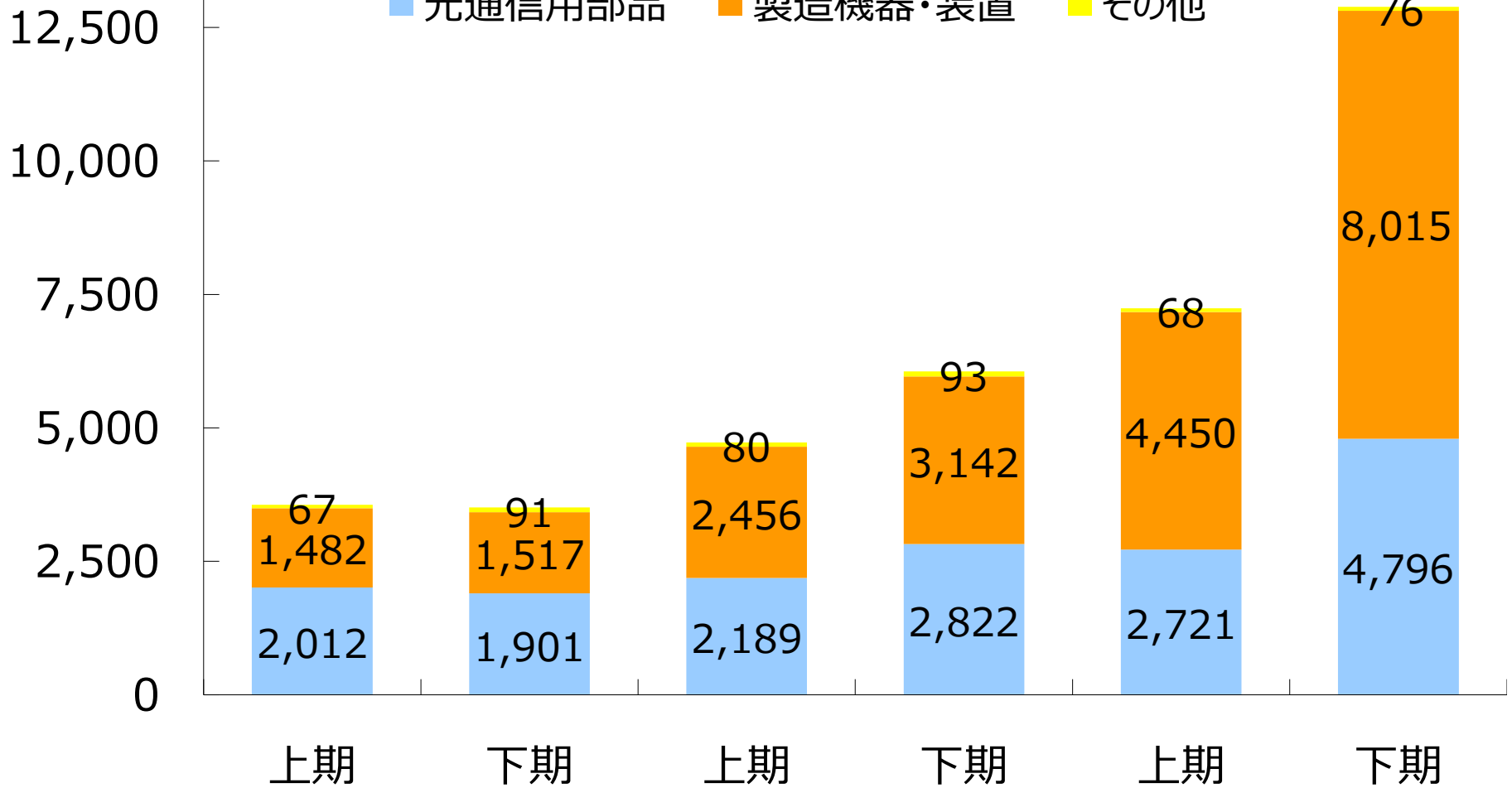
## 光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2026年3月期	2025年3月期	対前期増減率
売上高	20,124	10,782	+86.6%
営業費用	13,456	8,553	+57.3%
営業利益	6,668	2,229	+199.2%
営業利益率	33.1%	20.7%	—

# 光製品部門／製品別売上高

百万円

■ 光通信用部品 ■ 製造機器・装置 ■ その他



2024年3月期      2025年3月期      2026年3月期

# 連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2026年3月期	2025年3月期	増減額
流動資産	30,863	24,042	+6,821
固定資産	10,828	10,341	+487
資産合計	41,692	34,383	+7,308
<負債及び純資産の部>			
流動負債	6,257	4,786	+1,470
固定負債	1,393	1,452	△59
純資産	34,041	28,144	+5,897
負債純資産合計	41,692	34,383	+7,308

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2026年3月期	2025年3月期
営業キャッシュ・フロー	5,484	3,068
投資キャッシュ・フロー	△879	1,046
財務キャッシュ・フロー	△712	△2,013
現金増減額	3,935	2,254
期首残高	7,320	5,065
期末残高	11,255	7,320

- I. 2026年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗**
- III. 2027年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート



中期経営計画  
マスタープラン2022  
(2022年度～2026年度)

## 長期経営方針

# 当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**維持継続**に貢献する

- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



# 基盤技術と貢献領域

## 情報通信



## 自動車



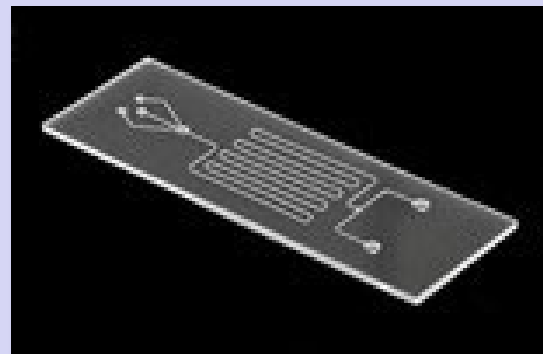
## 医療・バイオ



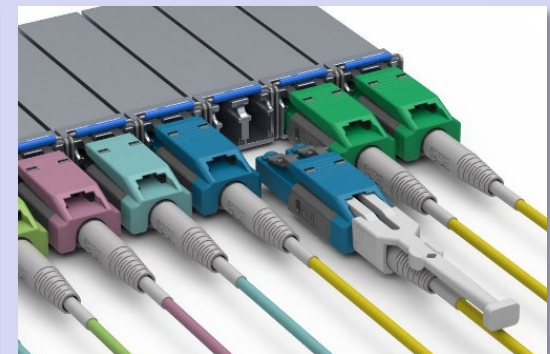
優位性のある基盤技術を成長市場に展開



## 精密加工技術



## 精密成形技術



## 光学技術

# マスタープラン2022 基本戦略

## 経済価値の最大化 ～事業の成長～

### 顧客接点の活性化

- 顧客との接触量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

### 新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

### ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

## 社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

### 経営基盤の強化

- 多様な人材が生き生きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

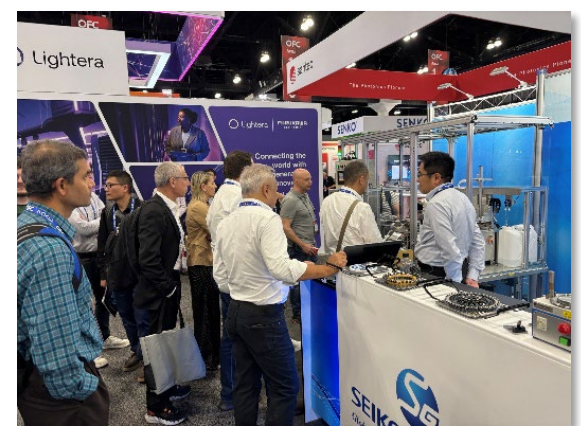
# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

## 顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

## 展示会への出展強化



**国内外の展示会に 13回出展 新規顧客との接点を創造**  
**データセンター向けの光部品 や 自動製造装置 に注目が集まる**  
**主要顧客幹部とのリレーションを強化し、密な商談をする貴重な機会に**

# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

## 顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

## 顧客サポートの強化



自動研磨装置「SFPS-V1」



光コネクタ研磨機の主要顧客に対して使用方法を指導

**自動研磨装置「SFPS-V1」の新規購入顧客を訪問し、導入立上げを支援**  
**光コネクタ研磨機の主要顧客を招き、使い方やメンテナンス方法をレクチャー**  
**主要顧客へのアフターサポートを強化し、さらなる優位性の確立へ**

# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

## 型内塗装技術の実用化推進



ハイエースのステアリングスイッチに採用 「SSIMC」による加飾成形品

システム販売開始の記者会見を開催

**東海理化様と開発した「型内塗装技術」活用のスイッチがトヨタ車に採用**

**住友重機械工業様と開発した加飾成形技術「SSIMC」のシステム販売開始**

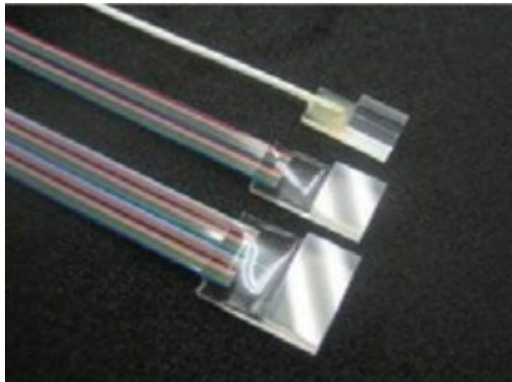
# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

**新製品・新技術開発の加速**

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

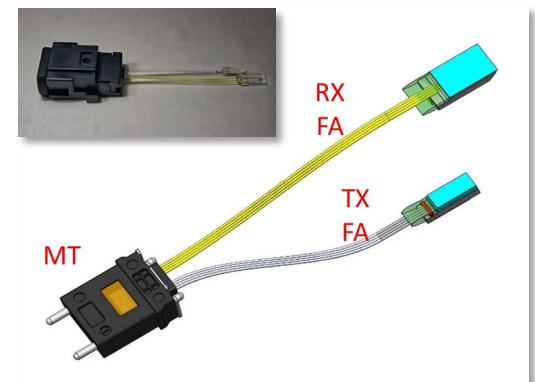
## 光トランシーバー向け部品の開発・量産化



ファイバアレイ



精工訊捷光電ではクリーンルーム内でMTファイバアレイを量産



**2026年1月に設立した精工訊捷光電（鶴壁）でファイバアレイを増産**

**2024年12月に設立した精工訊捷光電（杭州）で**

**光トランシーバー向け部品（MTファイバアレイ）を量産**

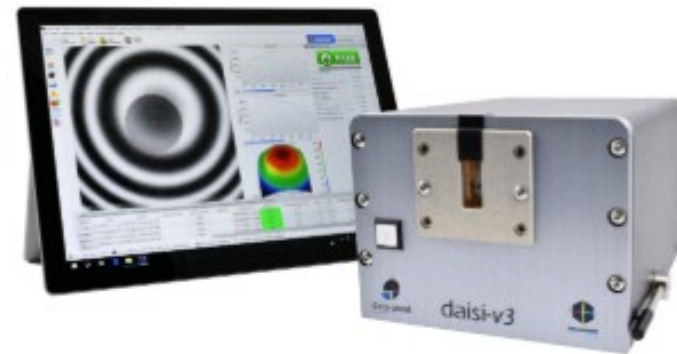
# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

## ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安く良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

## 研磨機・測定装置の生産能力拡大



研磨機は人員の増強と部材の調達環境を改善 DATA PIXELはオフィスを拡張して測定装置を増産

**日本本社では光コネクタ研磨機を生産能力を、1年間で約3倍に増強**

**DATA PIXELではオフィスを拡張 人員を前期末比1.5倍に増員**

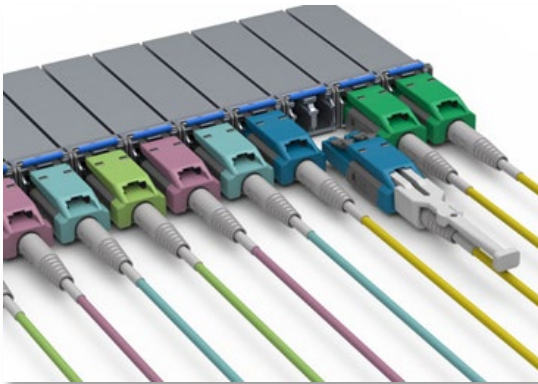
# 2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

## ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安く良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

## 光コネクタ 増産体制の確立



DC向け光コネクタ Intelli-Cross PRO SEIKOH GIKEN (THAILAND) は主要顧客の工場監査をクリア

**日本本社では、内製した自動組立装置でDC向け光コネクタを増産  
2025年6月より SEIKOH GIKEN (THAILAND) が生産開始**

# 2026年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き生きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

## サステナブルな社会と組織の確立に向けて



サステナビリティ ウェブサイト開設



CO2排出削減と事業の継続に向けた活動を推進

**FY2026に温室効果ガス自社排出量をFY2020比17%削減を目指す**  
**グループ全体で節電対策の強化／省エネ設備への切替を実施**  
**サイバーセキュリティの強化や防災訓練等、事業継続に向けた活動推進**

# 2026年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

## 人的資本投資／健康経営の推進



2025  
健康経営優良法人  
KENKO Investment for Health

中小規模法人部門

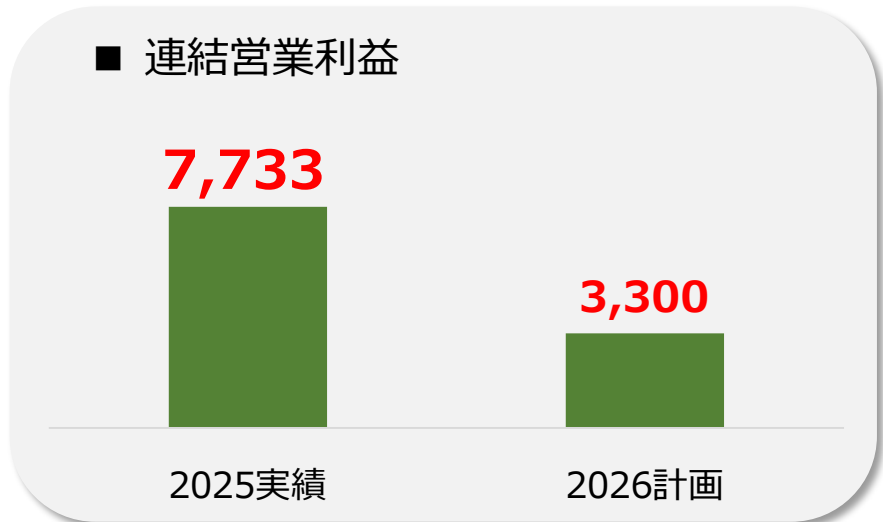
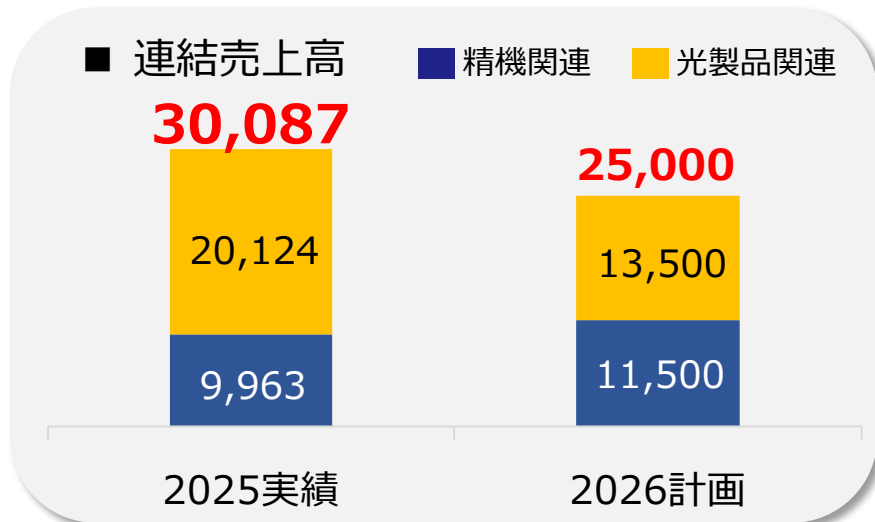


**エムジー「職場健康づくり宣言」が全国健康保険協会の認定授与  
健康経営優良法人（中小規模法人部門）更新  
ウォーキングイベントやがん検査の補助等により社員の健康を増進**

# 中期経営目標（損益指標） SEIKOH GIKEN

連結売上高、連結営業利益共に、目標を1年前倒しで達成

(単位：百万円)



(単位：百万円)	FY2025実績	FY2026計画	計画比
精機関連	9,963	11,500	△13%
光製品関連	20,124	13,500	+49%
<b>連結売上高</b>	<b>30,087</b>	<b>25,000</b>	<b>+20%</b>
<b>連結営業利益</b>	<b>7,733</b>	<b>3,300</b>	<b>+134%</b>
営業利益率	25.7%	13.2%	+12.5%

- I. 2026年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2027年3月期 連結業績見通し**
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート

# 2027年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	27/3月期 見通し	26/3月期 実績
売上高	16,600	17,400	34,000	30,087
営業利益	3,900	4,400	8,300	7,733
経常利益	3,950	4,450	8,400	8,139
当期純利益	3,000	3,400	6,400	6,210
設備投資			1,963	1,073
減価償却費			1,222	941
研究開発費			605	666

# 2027年3月期 連結業績見通し (部門別)

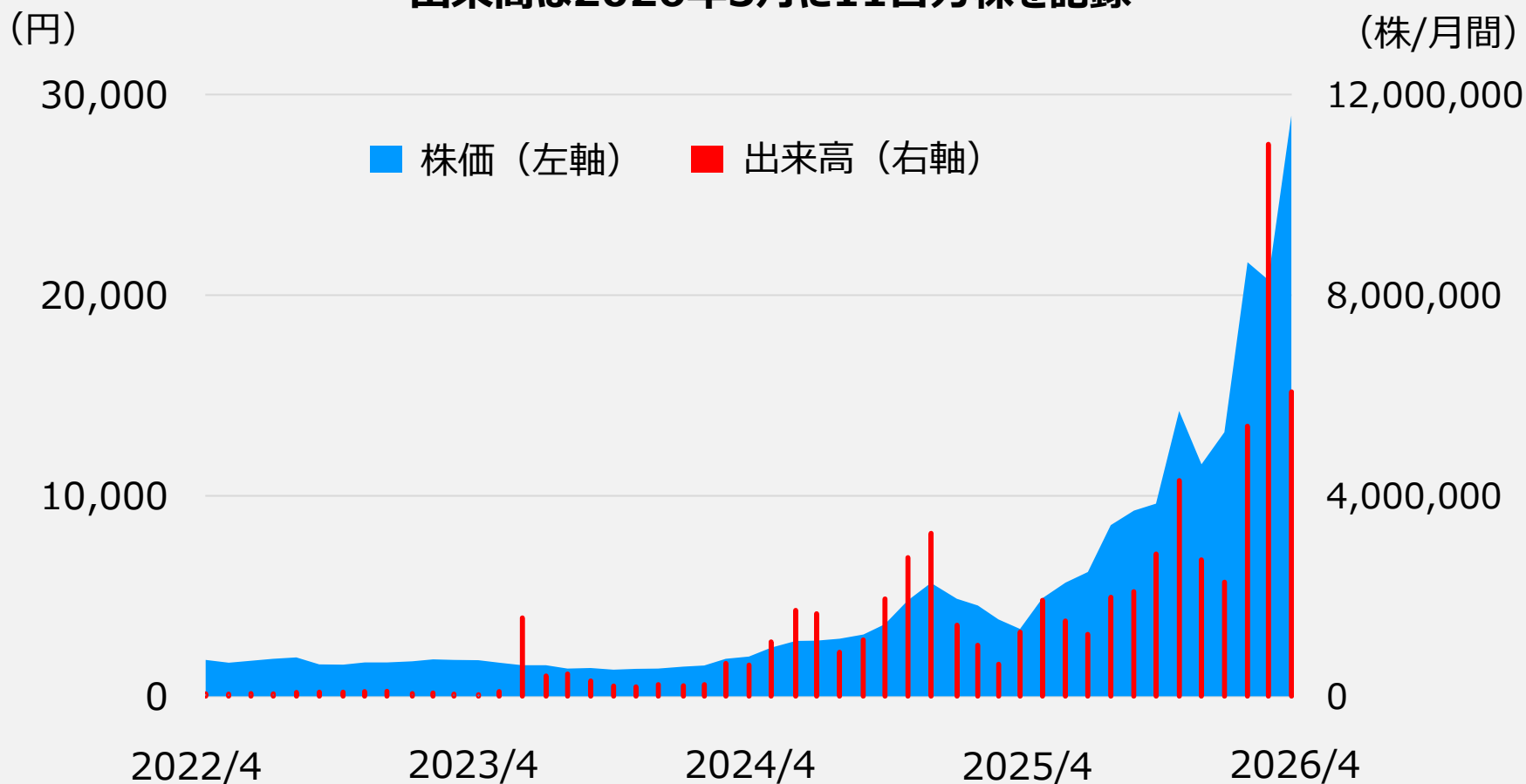
(百万円)	上半期	下半期	27/3月期 見通し	26/3月期 実績
<b>精機関連</b>				
売上高	5,200	5,300	10,500	9,963
営業費用	4,750	4,750	9,500	8,899
営業利益	450	550	1,000	1,064
<b>光製品関連</b>				
売上高	11,400	12,100	23,500	20,124
営業費用	7,950	8,250	16,200	13,456
営業利益	3,450	3,850	7,300	6,668

- I. 2026年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2027年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート

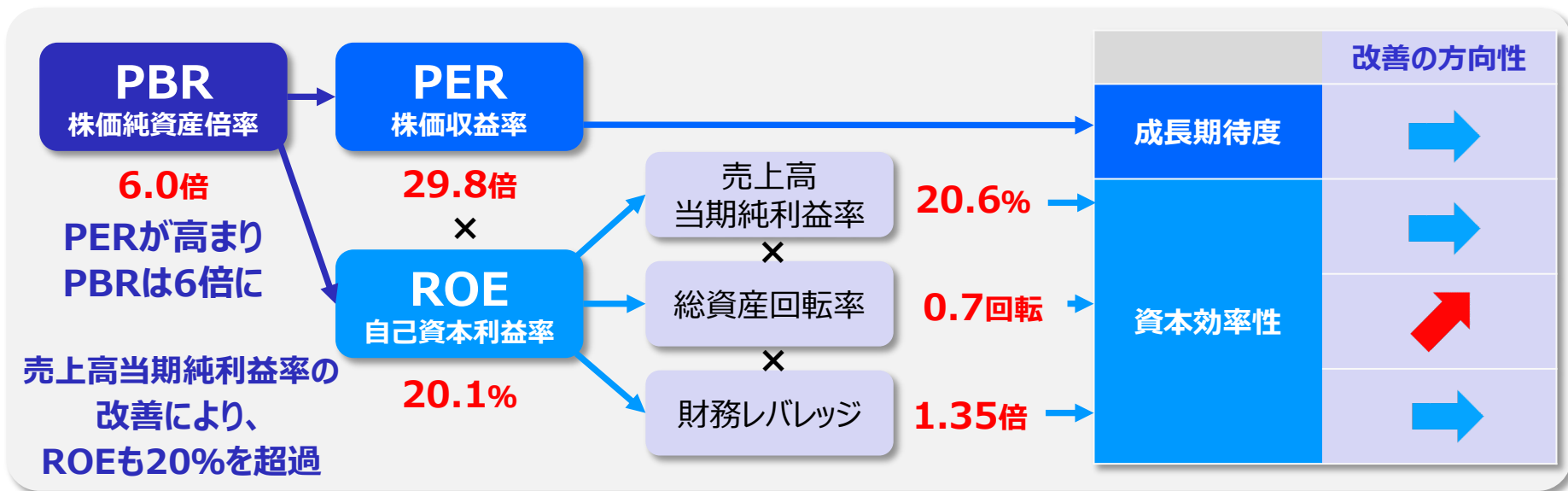
# 株価の推移

## ■ 株価/月間出来高 推移

**株価は2026年2月以降、20,000台で推移  
出来高は2026年3月に11百万株を記録**



# 現状分析



指標	単位	2021	2022	2023	2024	2025
<b>PBR</b>	倍	0.64	0.63	0.63	1.26	<b>6.00</b>
<b>PER</b>	倍	14.1	15.3	22.5	15.6	<b>29.8</b>
<b>ROE</b>	%	4.6	4.2	2.8	<b>8.1</b>	<b>20.1</b>
売上高当期純利益率	%	7.1	6.7	4.8	11.1	<b>20.6</b>
総資産回転率	回転	0.53	0.52	0.49	0.58	<b>0.72</b>
財務レバレッジ	倍	1.19	1.18	1.19	1.26	<b>1.35</b>

# 企業価値の向上に向けて

中長期的に企業価値を継続的に向上することのできる企業グループとなるべく  
M&Aを含む**戦略的な事業投資**を積極的に行い、総資産回転率を向上していく

<b>PERの維持</b> 成長期待の醸成	IR・企業広報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機関投資家、個人投資家向けIRの継続</li><li>・ 新聞、業界紙等へのプレスリリース強化</li></ul>
	サステナビリティ (非財務情報)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人的資本投資による人財力の向上</li><li>・ ESG関連情報の開示</li></ul>
	株主還元	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 配当水準の維持、向上</li><li>・ 機動的な自社株式の取得</li></ul>
<b>ROEの改善</b> 資本効率性の改善	利益率の維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・ IT化による業務効率の向上</li><li>・ 自動化による生産効率の向上</li></ul>
	総資産回転率の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>戦略的M&amp;A、アライアンスの実施</b></li><li>・ <b>新中期事業計画に基づく事業の成長</b></li></ul>
	財務レバレッジの向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 投資規模により有利子負債の活用も</li></ul>

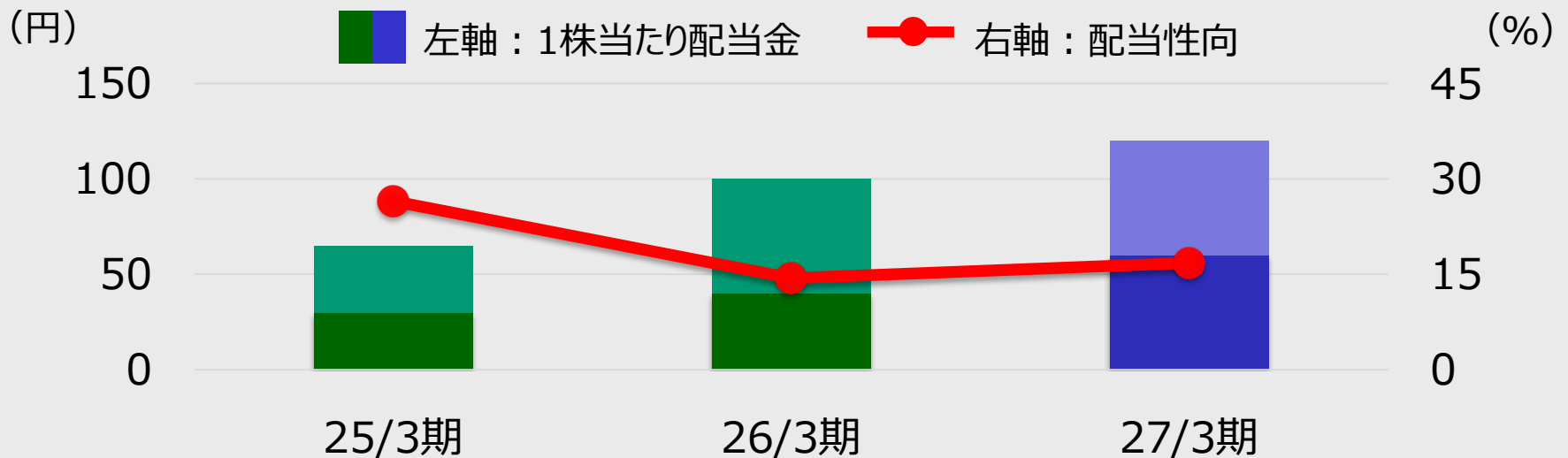
# キャピタル・アロケーション

営業キャッシュフローは、M&Aをはじめとする成長投資に積極的に充当



# 株主還元

		27/3月期 見通し		26/3月期 予定		25/3月期 実績	
親会社株主に帰属 する当期純利益	百万円	6,400		6,210		2,225	
1株当たり配当金	円	中間 60	120	中間 40	100	中間 30	65
		期末 60		期末 60		期末 35	
配当性向	%	16.8		14.4		26.5	

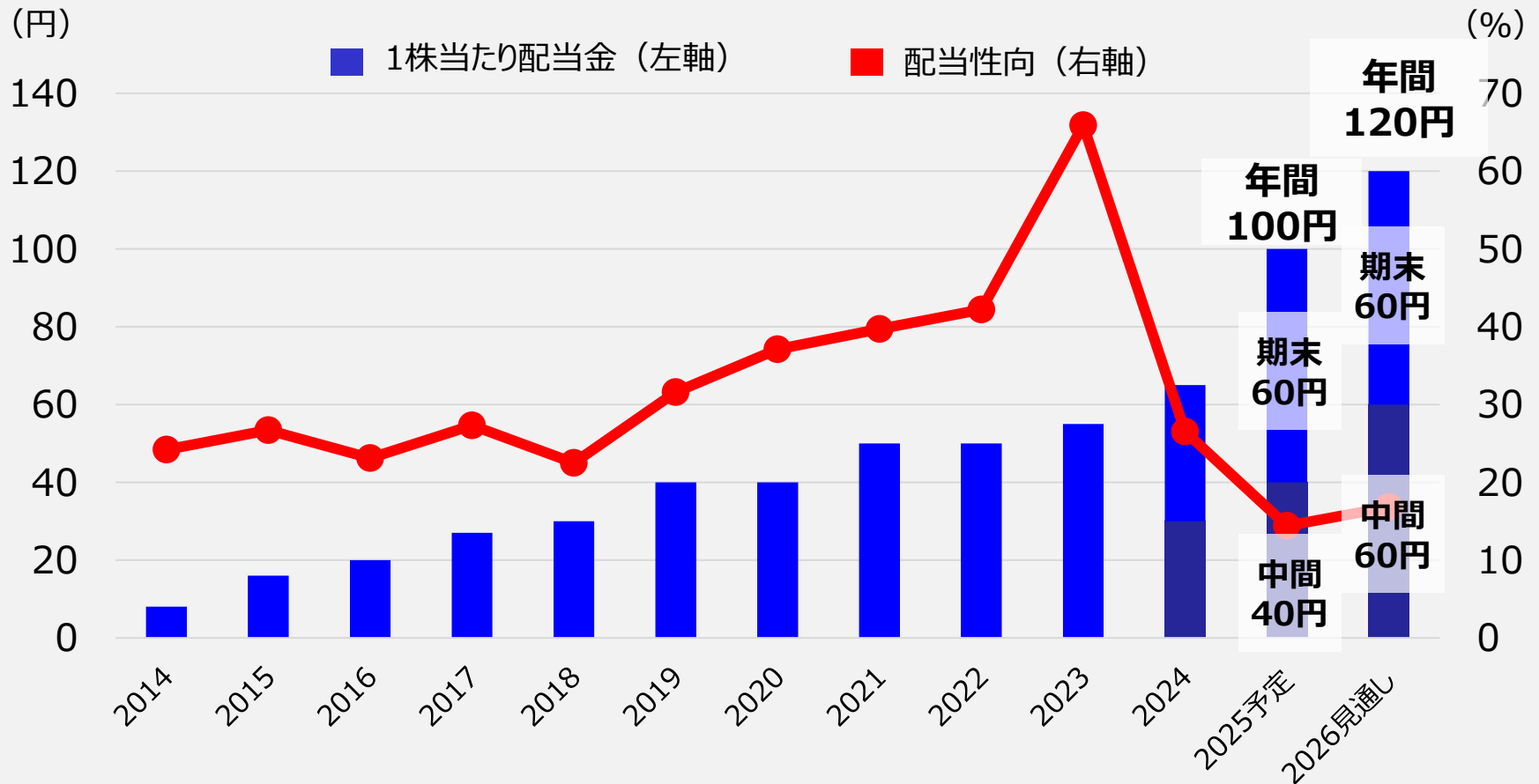


# 株主還元

## ■ 1株当たり配当金の推移

過去10年以上、配当金は安定して増加

配当金の水準は今後も安定的に維持・向上させていく方針



ご清聴 ありがとうございます。